

平成27年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市民会館
所在地	加西市北条町古坂1丁目1番地
担当課	文化・観光・スポーツ課
主要施設	敷地面積7,970㎡ 延床面積5,982㎡ (文化ホール2,987㎡、コミュニティセンター2,995㎡)

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社ケイミックス
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	49,479,000円

3. 施設の利用状況

施設名	利用件数	利用人数	利用料収入
文化ホール	164件	14,818人	296,600円
コミセン	4,087件	64,142人	3,280,930円
自主事業	8回	5,044人	—
開催講座	23講座	618人	—

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	施設の利用者数は昨年と比べて大幅に減少しているが、これは文化ホールが9月より閉鎖したためである。しかし、駐車場の閉鎖や騒音の問題をかかえ、文化ホール利用に付随した利用が減ったにもかかわらず、コミュニティセンターの利用件数においては2%程度の減でとどまっていることは評価できる。 自主事業については、事業計画以上の実施をしようという姿勢を維持し、9月より文化ホールが閉鎖している状態でありながら、計画的に実施している。また乳児向けのイベントでは授乳室を設けるなど、利用者のニーズを拾い上げて講座メニューを企画・更新する等の創意工夫を続けている。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか。		
2. 利用者の満足度	A	接客をはじめとする職員の対応への利用者の評価は高く、苦情・要望に対する対応の早さについても、利用者からお褒めの言葉をいただくこともしばしばある。 意見箱の設置やインターネットでの意見・要望収集も行っているが限界があるため、年に1回利用者からの意見を直接聞くサービス向上委員会を開催し、平素から利用者とのコミュニケーションを図るなど、利用者ニーズの把握に努めている。 文化ホール改修に際しては、身体の不自由な方の利用に関して市担当者と連携し、綿密な対応を行っている（身障者用駐車スペースの設定、利用者への周知徹底と駐車管理・利用者サポートなど）。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	各種マニュアルを備えたうえで、認可や保守点検、防災訓練などの法定要件を満たしているのはもちろんのこと、職員にサービス助士の資格を取得させたり、各種接客・危機管理研修を積極的に行い、再委託先の清掃・設備管理業者まで参加させている。 施設管理や清掃は再委託業者に任せきりにせず、常に監督を行い、必要に応じて再委託先に指導を行っている。 また、毎日の業務日誌は、その日のうちに本社へ報告を行い、必要に応じて本社からのフィードバックを受けており、チェック機能を万全にしている。業務日誌は現場職員間でも回覧され、情報の共有に努めている。 日常業務では、必要なものについては月例の報告を待たず迅速に市担当課への報告を行っており、また、市担当課からの指示・依頼に対する対応も迅速である。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか。		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報が適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	雇用については、事務職員8人中6人が加西市の住民であり、雇用率は75％である（27年度末現在）。 また、自主事業企画時には地元のニーズを拾う努力を続けており、平素から地域住民の方々の意見にも敏感に反応、対応できている。 加西市主催の事業に対しても、チケット販売や広報活動に積極的に協力している。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	施設利用料の増収を図るため、市内外企業への広告を平成27年度より開始している。 平成27年度の自主事業収入等は、文化ホール改修の影響による減収を見込んだ予算を大幅に上回った。 支出面では光熱水費の決算額が予算額より大きく増額しているが、これは予算編成時点で工事による影響を予測できなかったことが要因と思われる。また、委託料が決算時に減額となったが、こちらは今後の精査が必要である。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	市民会館の設置目的である「市民の生活文化の向上と教育の振興」を理解して業務を実施しており、利用者への対応、施設維持管理等、指定管理者として市担当が求める水準以上の管理運営が適切に行われている。 細かな苦情・トラブルにも誠意を持って対応できている、利用者の評判も上々である。

【今後（次年度以降）の課題等】
平成27年度は文化ホールの閉鎖というリスクを抱えながら、大きく事業収益を伸ばすことができたことは評価できる。 また、文化ホールの改修工事が開始されてからは、工事業者・市担当課との打ち合わせにも必ず出席し、情報交換・連絡調整に遺漏が無いよう努めている。 指定管理も3年目を迎えたが、市担当者の耳にもしばしば褒めの言葉が入る一方で、苦情らしい苦情はほぼ聞くことが無い。利用者の信頼を得ることができていると見受けられる。 収支計画については特に委託関係の予算額と決算額に差が出ているため、今後はさらに精査のうえ予算決定するようにしていただきたい。

S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組がなされており管理運営状況は極めて良好である。

A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。

B：概ね協定書等のおりの取組がされており、管理運営状況も適正である。

C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。

D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

S：各項目の評価がA以上でSを含む場合

A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合

B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合

C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）

D：各項目にDが含まれる場合

平成27年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市立善防園
所在地	加西市西笠原町172-142
担当課	地域福祉課
主要施設	敷地面積8411.54㎡ 延床面積939.39㎡

2. 指定管理者

指定管理者	社会福祉法人加西市社会福祉協議会
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	86,536,000円

3. 施設の利用状況

施設名	開園日数	延利用者数
善防園	255日	11,860人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	前年度に比べ利用者率が約2.4%の増となっている。 また、社会生活を支援する取り組みとして買い物や食事体験など、園外の社会に溶け込んでいけるような事業を積極的に実施している。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか。		
2. 利用者の満足度	B	アンケートの実施や利用者の会等からの聞き取りにより、満足度や要望を調査するとともに、事業や行事の内容を見直し、反映させていた。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	人員配置については、配置基準を満たすとともに、有資格者も配置している。 事業所内の研修はもとより、事業所外の研修にも28回参加しており、資質の向上に努めている。 玄関ドア、室内のドアについても改良することにより、衝突事故防止や車いすでの利便性向上を図った。 また、防災マニュアルを整備するとともに消防点検も実施しており、防災面においても力を入れている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか。		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	年に一度、ガーデンパーティーを開催し、市民と利用者、保護者との交流を図っている。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	昨年同様、冬季は薪ストーブを使用し、光熱費の削減に向け工夫されている。 また、バザーやイベントでのパンフレット配布や園の紹介を積極的に行い、事業所のPRに努めている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	「視覚支援」ということに力を入れ、利用者が直感的に理解できるよう創意工夫を凝らしている。 職員の各種研修参加に力を入れられているところではあるが、個々の利用者の特性に対応できるよう、さらに努めていただきたい。

【今後（次年度以降）の課題等】

利用者の心身の状況は多種多様であり、それに対応するために苦勞されていると思うが、研修等によりさらに資質や技術の向上を図っていただき、利用者や保護者の満足度の向上に努めていただきたい。
また、生活介護サービスの利用状況をみながら、定員増の検討など受入体制を整えていく必要がある。

【各項目の評価】

S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成27年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市古法華自然公園研修施設
所在地	加西市中山町、東剣坂町、西長町
担当課	農政課
主要施設	敷地面積 約150ha 研修センター、公園施設

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社清光社
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	7,084,800円

3. 施設の利用状況

施設名	市内利用者	市外利用者	合計
キャンプ場	413人	8,454人	8,867人
B B Q場	325人	1,996人	2,321人
ウォーキング等	—	—	56,927人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	施設利用者数は昨年度と比較し約2万人増加した。キャンプ場やウォーキング等の利用者は増加したが、B B Q場の利用者数は減少している。自主事業も多く行っていたが、広報活動に問題があり、参加者は少数であった。事前に市と情報共有すべき課題もあったが、広大な施設を利用者が快適に過ごせるように管理されている。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか。		
2. 利用者の満足度	B	昨年10月よりアンケート調査を開始し、利用者の苦情対応については誠実に対応ができている。利用者が利用しやすい環境づくりは適切に行われている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	施設の管理運営については、適正な人員配置を行い、必要な場合は集中して人員を確保し作業に当たっている。特に樹木の伐採及び除草剪定作業により、良好な景観整備に貢献したことは評価できる。施設については非常に快適な状態が保たれている。緊急時の対応等も特に問題なく、報告もされている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか。		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報情報が適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	GW中には、地元野菜の販売、スーパーボールすくい等を実施し市内外からの集客に貢献している。昨年度同様、ハイキング大会を企画するなど、積極的に市と連携している。しかし、地域連携の取り組みはまだ不十分である。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	無料施設であるため、増収対策は見込めない。計画的な自主事業の実施が不十分であり、収支改善は難しい。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	広大な施設の管理運営については、十分対応できている。自主事業については事前の広報とともに、より多くの方が参加できる取り組みが必要である。

【今後（次年度以降）の課題等】

- ・利用者のアンケート結果に基づき、より良好な公共施設となるよう運営管理に反映させていくこと
- ・より積極的に広報活動に取り組み、地域と連携したイベントを開催して、古法華自然公園の良さを市内外に発信していくこと
- ・繁忙期（GW等）における駐車スペースの確保

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取り組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成27年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市都市公園
所在地	市内12カ所
担当課	都市計画課
主要施設	丸山総合公園、ハイツ第1公園、ハイツ第2公園、さつき公園、朝妻公園、曽根公園、吉本公園、網引公園、常吉ふれあい公園、井ノ岡公園、大坪公園、網引緑地

2. 指定管理者

指定管理者	国際ライフパートナー株式会社
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	14,604,840円

3. 施設の利用状況

施設名	許可申請件数	利用人数
丸山総合公園	138件	15,854人
ハイツ第2公園	76件	1,355人
朝妻公園	417件	7,968人
吉本公園	20件	2,400人
さつき公園	0件	00人
合計	651件	27,577人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	目視でのカウントによる公園利用者数は前年比減少であったが、使用許可申請数は前年比増加であるため、定期的に利用するリピーターが増加していると考ええる。自主事業については、計画どおりに開催できない企画もあったが、反対に計画に無かった新たな自主事業を行うなど、臨機応変に利用者ニーズに応じた対応を行うことで、公園利用へのきっかけづくりに取り組んでいた。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか。		
2. 利用者の満足度	B	意見箱を設置し、出てきた意見・要望に対しては迅速・的確に対応した。修繕も迅速に対応するなど、更なる利用者の満足度向上に努めていた。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	公園スタッフに対する消火訓練・避難訓練・普通救命講習会を実施し、公園利用者の安全の確保に努めた。老朽化の目立つ給排水設備の不具合に対し迅速に対応した。枯松の伐採、草刈や剪定を計画的に行うことで景観に配慮し、公園利用の快適性を充実させていた。また、公園内の剪定枝のチップ化を行っているが、例年以上に迅速に行うことで、更なるゴミの減量化に努めた。苦情、修繕なども随時担当課への報告をもらっていた。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか。		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報の適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	施設スタッフとして地元住民を雇用すると共に備品や消耗品は市内の店から購入していた。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		トライやるウィークで地元中学生を受け入れ、ローラー滑り台のマットを製作した。新たな自主事業として、桜の開花時期にあわせて集客イベントを共催するなど、地域貢献及び健全な青少年育成への協力を行っていた。
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	都市公園の管理という収入増加につながる取り組みが行いにくい業務であるが、運営経費を抑え、ソフト事業に取り組んでいた。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	都市公園の安全性・快適性を維持しながら、新たな自主事業を行うなど利用者サービスの向上を図っていた。

【今後（次年度以降）の課題等】

平成28年度より指定管理者が交代することになったが、この3年間安定した管理運営を行っていたと評価しています。市としては、今まで以上に適切な時期における剪定作業の実施と伐採した枝葉のチップ化による環境対策、経年劣化の見られる施設の適時の修繕、丸山総合公園の自然環境を活かし集客を図れる自主事業の実施により前年度以上の利用者数増加及び利用満足度向上に取り組んでいきます。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成27年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市ランドマーク展望台
所在地	加西市玉野町1, 124番地の9
担当課	文化観光スポーツ課
主要施設	展望台、遊具、モニュメントベル、山頂広場、山麓登山口広場

2. 指定管理者

指定管理者	国際ライフパートナー株式会社
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	771, 120円

3. 施設の利用状況

施設名	延人数
登山者数	5, 167人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	仕様書や事業計画書通りに実施できた。利用者は、前年度比110%となっている。絵画展や写真展などの利用者増加を目指した自主事業が行われた。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか。		
2. 利用者の満足度	B	「なぞなぞクイズ」の立て看板新設や登山道の整備など、利用者の満足度向上を目指した取り組みが行われた。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	備品及び物品の管理については適切な管理がなされていた。施設の特性を捉えた事業が実施されており、修繕についても早急な対応がなされていた。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか。		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報が適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	トライやる・ウィークに市内中学生を受け入れ、社会体験活動の場を提供した。 また、施設管理従事者は100%地元の人材で対応した。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	概ね事業計画書通り、適正に執行されている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	実施計画書通りに管理運営を行っている。 自主事業の実施や「なぞなぞクイズ」など、利用者が楽しみながら登れるように考えられており評価できる。

【今後（次年度以降）の課題等】

登山道の草刈りや樹木の枝払いなど、利用者の安全を確保していただきたい。
利用者からの要望に対しては、早急且つ適切に対処していただきたい。
利用者満足度向上のため、さらなる自主事業の取組を図られたい。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組がなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組がされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成27年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市体育施設
所在地	市内8施設
担当課	文化観光スポーツ課
主要施設	加西勤労者体育センター、加西テニスコート、加西球場、多目的グラウンド、加西市民グラウンド、屋内ゲートボール場スパーク加西、グリーンスポーツ広場アクアス加西、加西南テニスコート

2. 指定管理者

指定管理者	国際ライフパートナー株式会社
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	26,330,400円

3. 施設の利用状況

施設名	利用件数	利用者数	利用料収入	備考
体育センター	1,919件	18,367人	2,706,340円	
テニスコート	1,521件	8,965人	2,368,750円	
加西球場	175件	12,386人	1,520,750円	
市民グラウンド	148件	10,619人	104,550円	
多目的グラウンド	827件	15,243人	2,185,200円	
すばーく加西	412件	4,132人	378,350円	10月から1月まで利用停止
アクアスカさい	236件	4,202人	0円	サッカー利用停止 グラウンドゴルフ8月まで利用停止
加西南テニスコート	340件	2,053人	512,400円	
南多目的広場	130件	3,151人	—	
合 計	5,708件	79,127人	9,776,340円	

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	仕様書や事業計画通りに開館できた。利用者数については、約5,000人の減少となっているが、すばーく加西の改修工事やアクアスカさいの芝生養生が影響しているものと考えられる。7月から10月の水曜日開館に伴う利用者は1,780人であった。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか。		
2. 利用者の満足度	B	アンケート調査により利用者の要望把握に努めているが、実施回数が少ないと思われる。意見があった時には適切に対処できていた。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		

評価項目	評価	評価理由
3. 適正な管理運営	B	備品及び物品の管理は適切になされており、軽微な修繕は協定に即し、管理運営で対応した。 また、エアコン等の故障に際しても、指定管理者で対処していた。 全ての施設において、概ね適切な管理が実施できていた。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか。		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報情報が適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		
4. 地域貢献	B	地元雇用100%であり、施設管理人はシルバー人材センターを採用し、修繕には地元業者を活用している。体育協会と連携した「運営協議会」は開催されなかった。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	アクアスカさいの利用料の減少があったが、自主事業等の収入が上がったため、予算を上回る決算となった。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	概ね実施計画書通りの管理運営ができていた。 施設の修繕等で利用料が減少したが、自主事業で予算の確保ができており、予算の執行状況も概ね良好であった。

【今後（次年度以降）の課題等】

利用者の要望把握(アンケート)実施回数を増やしていただきたい。
市民からの苦情に対しては、早急且つ適切に対処いただきたい。
管理運営業務実施にあたっては、各種スポーツ団体と連携を図っていただきたい。

【各項目の評価】

S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組がなされており管理運営状況は極めて良好である。

A：協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。

B：概ね協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。

C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。

D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

S：各項目の評価がA以上でSを含む場合

A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合

B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合

C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）

D：各項目にDが含まれる場合

平成27年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市玉丘史跡公園
所在地	加西市玉丘町76番地
担当課	生涯学習課
主要施設	公園面積6.2ha

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社清光社
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日
指定管理料	6,480,000円

3. 施設の利用状況

施設名	利用団体	利用者数
公園	—	48,680人
グランドゴルフ	7組	303人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	平成27年度の利用者数は48,680人であり、昨年度に比べ、利用者数が140%と大幅な増となった。 自主事業は、計画書では7件の企画が予定されていたが、5企画が実施された。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか。		
2. 利用者の満足度	B	公園ガイダンス施設内にアンケートBOXを設置し、利用者の要望・意見の把握を実施している。 また、夏季の日よけ対策でパラソルの設置やミスト噴霧機の設置などを行った。 施設の平等利用については適切に対応されている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	大型遊具の導入により、幼児等を伴った親子連れの来園者が増加したが、安全面の注意喚起看板の設置など、安全対策、施設点検などは適切に行われた。 また、事故防止のため、公園内でのスケートボードの使用を禁止し、禁止の看板を設置した。 蜂の巣駆除等、安全対策に早急に対応している。 不時発生事案の対応・処理は概ね迅速になされているが、報告が月例報告と一緒に提出されるなど、緊急報告に不備があったため、連絡体制改善の指導を行った。 公園内の植栽管理は順次行われている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な資格者等を配置しているか。		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	関連の公園活用イベントにはドリンク等をふるまうなど協力体制があった。 一部外部委託には、地元のシルバー人材センターを活用している。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	概ね適切に執行されている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	アンケート調査の実施や自主事業等の予定数実施など、改善が行われている。 そのほかは事業計画に基づき、概ね適切に実施されている。

【今後（次年度以降）の課題等】

報告・書類提出等、事務レベルの即応性に改善の余地がある。
利用者が増えるなど指定管理者の運営の適切さは評価できるが、利用者の増に伴い要望・事故等の件数の増も予測される。こうした事態に対応できる十分な体制強化が望まれる。

【各項目の評価】

S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。

A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。

B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。

C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。

D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

S：各項目の評価がA以上でSを含む場合

A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合

B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合

C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）

D：各項目にDが含まれる場合